

北海道当別町 ふるさと納税を活用した取組のご紹介（R2年度）

当別町では、ふるさと納税制度により、町出身の方や町を応援したいという方より心のこもったご寄附をいただいております。皆様からいただいた寄附金は、個性豊かなまちづくりを推進するため各種事業を展開し、当別町の更なる発展のために活用しています。

()は、ふるさと納税充当予算

(1)産業力の強化

総事業費 175,756,000円(うち 21,852,000円)

西当別小・中学校木質ボイラの導入

総事業費 171,986,000円(うち 18,082,000円)

ボイラ設備の老朽化が著しい西当別小学校及び中学校に木質チップボイラを導入し、学校施設の機能向上を図るとともに、エネルギーの地産地消の推進及び再生可能エネルギーによるCO₂削減を図ります。

他2事業

(2)人を呼び込むまちの再生

総事業費 60,861,000円(うち 43,806,000円)

当別町150年記念事業

総事業費 30,000,000円(うち 29,000,000円)

明治4年に仙台藩岩出山領主、伊達邦直公が入植してから150年の節目を迎え、この節目の年に先人の偉業やこれまで積み重ねてきた歴史を振り返り感謝すると共に、この先50年、100年と続く未来へ繋げるため、町民と一体となって「当別150年」を盛り上げる事業を実施します。

当別町コミュニティバスの運行

総事業費 24,656,000円(うち 12,656,000円)

当別町コミュニティバス(当別ふれあいバス)は、官民共同により、平成18年から運行を開始し、こどもから高齢者まで安心して移動できる利便性の高い交通手段として運行しています。今後も町内外からの利用者の幅を広げます。

他1事業



(3)未来を担う子どもの育成

総事業費 907,467,000円(うち 147,113,000円)

小中一貫教育の推進

総事業費 11,816,000円(うち 11,816,000円)

児童生徒の学びの連続性を確保するため、「一貫教育推進講師(会計年度任用職員)(英語2名、算数(数学)2名)を各中学校区に配置し、小学校及び中学校での教科指導を実践し、学力の向上を図ります。また、小学校高学年の中学校登校、中学校教員の小学校への乗り入れ授業や、日本体育大学と連携した教職員研修等、児童生徒・教職員の交流の促進や教職員の資質向上に向けた取組とともに、一体型義務教育学校開校に向け校歌・校章の制作やカリキュラム等の検討を行います。

当別町一体型義務教育学校建設事業

総事業費 860,128,000円(うち 121,164,000円)

令和4年度開校に向け、当別町一体型義務教育学校建設工事を行います。

乳幼児等医療費助成対象の拡充

総事業費 18,038,000円(うち 8,086,000円)

通院医療費の助成対象を小学校就学前から小学校卒業までに拡大、入院医療費の助成はこれまでに引き続き高校卒業まで実施し、子どもの健康の保持増進と子育て世代の経済的負担の軽減を図ります。

他4事業

(4)住み続けたいまちの形成

総事業費 380,993,000円(うち 16,994,000円)

町道除排雪事業

総事業費 375,000,000円(うち 11,000,000円)

冬期間において、快適な町民生活及び産業・経済活動を確保するため、除排雪業務を行います。また、当別町除排雪連絡協議会、除排雪業者と連携を図りながら、効率、効果的な排雪作業を図ります。

他2事業

当別町は2020年に伊達邦直公が入植してから150年を迎え、この記念すべき年を町民と一体となって盛り上げてまいります。また、未来を担う子どもの育成を目指し、小中一貫教育の推進を図ることができますのも、皆様の応援があつてのことであり、心より感謝申し上げます。

当別町は今後も活力ある個性豊かなまちづくりを推進してまいりますので、引き続き応援をお願いいたします。